

Something New

サムシングニュー

vol.38
AUTUMN.2016

特集:中間的就労の取り組み

自分に合った働き方を



働くきっかけと、
喜びを考える



南山城学園は雑誌「Something New」(サムシングニュー)38号 2016年8月31日発行(年4回発行) 発行責任者:藤影裕 発行:社会福祉法人 南山城学園 〒610-0111京都市城陽市富野塚谷2番地1 TEL.0774-52-0425(代) FAX.0774-53-7578

京都市伏見区
(醍醐エリア)



京都市
中京区・下京区
(保育園)



城陽市
(城陽・宇治)
エリア



編集後記

落ちこぼれ 和菓子の名につけたいようなやさしさ
 落ちこぼれ いまは自嘲や出来そこないの謂
 落ちこぼれないための ばかばかしくも切ない修業
 落ちこぼれこそ 魅力も風合いも薫るのに
 落ちこぼれの実 いっぱい包容できるのが豊かな大地
 それならお前が落ちこぼれろ はい 女としてとっくに落ちこぼれ
 落ちこぼれずに旨げに成って むさむさ食われてなるものが
 落ちこぼれ 結果ではなく
 落ちこぼれ 華々しい意思であれ 『落ちこぼれ』 茨木のり子

南山城学園とは

1965(昭和40)年に創立以来、50余年、さまざまな地域福祉の課題に取り組んでいます。障害のある方、高齢者、子どもなど1000名を超える利用者の皆様を約600名の職員がサポートしています。

インタビューをさせていただいたお二人も「無理に頑張る必要はない」と何度も言っておられました。落ちこぼれないようにと必死に頑張らなくても、華々しい意思があれば十分魅力があるはず。ゆっくりゆっくりと美味しく育ていく「落ちこぼれ」こそ、魅力があるのだと。(渡邊)

一般の企業や事業所で働くことをサポートしています

京都府初！
「認定就労訓練事業」
「認定就労訓練事業」とは、自立相談支援機関のあつせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者を受け入れ、その状況に応じた就労の機会を提供するとともに、生活面や健康面での支援を行う事

《 一般就労へのステップアップ 》

非雇用型・中間的就労

- ・訓練計画に基づく就労訓練
- ・事業主の指揮監督を受けない軽作業
- ・就労支援担当者による就労支援・指導等

雇用型・中間的就労

- ・雇用契約に基づく就労
- ・比較的軽易な作業
- ・就労支援担当者による就労支援・指導等
- ・就労条件における一定の配慮（労働時間、欠勤について柔軟な対応）

一般就労

- ・職場への訪問や面談などの定着支援の実施

就労訓練事業

一般就労へ

業です。本人の状況に合わせて非雇用型、雇用型のいずれかの就労プログラムを行い、最終的には企業や事業所などで一般従業員と同じ働き方へつなげることを目標にしています。
この事業が、京都府では初めて認定事業として認められました。

- 「実施内容」
- ① 商品の検品、シーリング、パッケージング、箱詰めなど簡単な作業
 - ② 手作業での内職作業
 - ③ コミュニケーション能力の向上や身だしなみなど、座学や個人面談を通じてメンタルケアを実施

非雇用型・中間的就労

就労トレーニング事業「ゲンテン」



京都府在住の18〜59歳までの長期離職者（※）を対象に週4日程度通所していただき、生活サイクルの改善から作業を通じて自信の回復・集中力の持続を測っています。活き活きと一般社会で働く喜びを感じていただくために社会の基礎知識を学べる場として実施しています。

（※）長期ひきこもり、障害者、生活困窮者、生活保護受給者など長期に渡り、就業していない方

雇用型・中間的就労



洗顔スポンジなどの美容品に附着しているゴミの除去作業

実践型トレーニング事業

就労意欲がある方で就労するために必要な体力や技術を身につけていただく訓練の場を提供し、雇用型実習契約を締結した上で6ヶ月間従事していただきます。

「実施内容」

- ◎ 清掃作業
（株）ティー・エス・ケーの協力のもと、清掃の作業内容・技術を磨く
- ◎ 農園作業
NPO法人スモールファーマーズの協力のもと、農業に関する作業・技術を磨く



清掃員として6ヵ月間、南山城学園の彩雲館の清掃訓練中。



ぶちぼんとファームの玉ねぎ収穫。農業作業員として6ヵ月の訓練中。

中期経営計画2020

（創立50年を機に策定した「ネクストビジョン2025」内）

- (1) 障害者の地域移行
- (2) 高齢障害者の居住安定
- (3) 高齢者福祉の充実
- (4) 地域コミュニティの活性化
- (5) 福祉教育・啓発の推進
- (6) 魅力ある職場づくり
- (7) 災害時の対応
- (8) 保育・子育て支援事業の展開
- (9) 生活困窮者への支援**
- (10) 研究と実践の連係

(9)

生活困窮者への支援

生活困窮者が社会的自立を果たせるよう、さまざまな中間的就労の場を提供し、一般就労への移行を支援します。



特集 中間的就労の取り組み その人に合った働き方、体験の場を



長期に渡り、離職している障害者や生活困窮者などを一般の企業や事業所の就職へとつなぐ準備段階として、短時間の軽作業など可能な形で働ける場を提供し、社会的自立を支援する仕組みを「中間的就労」といいます。

当法人では、「雇用型」（平成26年9月開始）に加え、28年7月から「非雇用型」を開始し、このたび京都府第1号の「認定生活困窮者就労訓練事業所」となりました。また、障害者の就労支援については、障害者支援施設「魁」を中心に行っています。が、昨今、いわゆるニートや引きこもりなど、従来の福祉サービスの制度に該当しない、新たな生活困窮者支援の必要性が顕在化しています。そこで、法人理念の「地域のニーズにバイオニア精神で取り組む」観点から、社会福祉法人の地域貢献の一環として、今後は、「障害者の就労支援」と併せて、「中間的就労」「生活困窮者支援」にも積極的に取り組んでまいります。

【シンク・アンド・アクト株式会社】
「ゲンテン」のほか、学生・既卒者就
職支援、企業向け・地方公共団体向
け人材開発研修、経営支援など多岐
に渡る事業を展開している。



いざわしんいち
伊澤 慎一

中間的就労のパートナーが語る 南山城学園と共に、 京都モデルを全国へ

シンク・アンド・アクト株式会社 代表取締役社長

自転できる
事業として

よくNPO法人と間違えら
れますが、確実に株式会社で
ありたいんです。ずっと続け
られる事業として、「必ず就職
先まで見つける！」という覚
悟で、経済的自立にこだわっ
ています。

欲張りであれ

時給に換算して働くという
姿勢は自分を追い込む。息切
れしやいますよ。お金は
もちろん大事。ただ、1番、2
番と優先順位を必ず考えた方
がよい。2番目以降があると
案になる。社訓のひとつが「マ
ルチであれ」。明日死ぬかも、
が人生の積み重ねだと思っ
ています。マルチであるほど人
生も広がり、どんどんやって
いくと後悔も少なくなる。新
しいことを常に考えている人

生はとても楽しいものになる
でしょう。

ともに、モデル事業
として全国へ

「人がやらないことをや
れ。できない、儲からないと
思われている所に可能性が
転がっている。あまのじゃく
であれ。」というのもシンク・
アンド・アクトの社訓のひと
つ。中間的就労支援事業を南
山城学園とジョイントでや
ることの相乗効果は無限大、
お互いが無くてはならない
存在です。

長期離職者の就職支援は、
うつ病などで休職中の職員
を対象とした復帰トレーニ
ングを含め、企業からのニー
ズが増加している。先のさら
に先を見据えながら、得意な
ところを提供し合うという
関係性をめざしています。

さらに、いじめなどが原因
で引きこもっている不登校
児を対象に、勉強、遊びを交

働く喜びとは

えた経済的自立のための教
育を中学から6年程でプロ
グラム化し、その子達が将来
の選択をする際にゲンテン
が京都の仕事場のハブ役を
担う、という今後の展望も具
体的にあります。まずはゲン
テンと南山城学園で京都モ
デルを作り、いずれは全国へ
広げたい。社会的にも付加価
値の高い事業になるだろう
と考えています。

仕事を通じて人との関係性
を学び、築いていく。一生懸
命だからこそ楽しくて、しん
どいことももちろんある。そ
れらをひっくるめて、人と触
れ合える、受け入れてもらえ
る、役に立てるといふことの
充実感を味わえるのが仕事の
魅力だと思えます。「人との
出会い、人とのつながり」が
働く喜びのものなのかもしれ
ないですね。

働くきっかけ、 働く喜びの原点。



就労トレーニング事業「ゲンテン」に参加後、

南山城学園の「雇用型中間的就労(清掃)」1期生となり、
現在、一般就労しているお二人に話を伺いました。

半日勤務という
働き方

倉田 平日の午前中に、株式
会社ティー・エス・ケーの清掃
指導員として勤務していま
す。勤務地は南山城学園の彩
雲館です。

上林 週5日、午後のパート勤
務ですが、南山城学園の障害者
支援施設「円」で生活支援員を
しています。今年8月からは、
午前も「ゲンテン」の補助ス
タッフとして勤務しています。

新しいことに
チャレンジ

倉田 ひきこもり気味だった
私は、市役所の紹介でゲンテン

に参加し、仕事のやりがいや仲
間の大切さを実感し、元気を取
り戻すことができました。た
だ、持病への不安から、なかな
か就職活動に踏み出せずにい
たのです。そんなときに「清掃
の仕事で中間的就労に参加し
ないか？」と声をかけていただ
きました。以前の私なら清掃の
仕事に抵抗を感じたでしょう。
でも、ゲンテンでの経験があつ
たので、「新しいことにチャレ
ンジしよう」と思い、参加する
ことができました。

上林 私は以前、競走馬の厩務
員や配送の仕事をしていたし
たが、30歳半ばで「てんかん」を
発症しました。しばらくは病氣
を隠していました。が、祇園で
「てんかん」発作による交通死
亡事故が起きて、怖くなって辞
職しました。その後も働きたい
気持ちはあったので、就職活動
をしました。が、「てんかん」を理
由に採用されず、障害者の求人
でも採用されない。「てんかん」
の理解が浸透していない現実
を知り、自分を否定された気持
ちになり、結局、ひきこもって
しまいました。前向きな考え方
に変わったのは、ゲンテンと出
会ってからです。就職活動に苦
しんでいた私に、中間的就労へ

の参加を勧めてくれました。

「支えてもらう」から

「支える」立場に

上林 6カ月間、学園内で清掃
の仕事をする中で、私は、障害
がある方々も自分と同じよう
にサポートを必要としている
ことに気づきました。「役立ち
たい」「人を助ける仕事がした
い」との思いが湧いてきて、今、
学園の生活支援員として働い
ています。今後は、正職員さん
の支援方法を見習って仕事に
取り組んで行きたいです。

倉田 6カ月間の訓練が終了
に近づいた時、「身につけた技術
を無駄にしたくない」という気
持ちになり、今の会社で働くこ
とを希望しました。ゲンテンか
ら始まった「縁」に感謝していま
す。「教わる」から「教える」立場
となり、「コミュニケーション」が
少し苦手なので苦労すること
もありますが、自分を成長させ
るため、日々、努力しています。

はじめの一步に

チャレンジする人に

応援メッセージを

倉田 「頑張れ」と言われると
苦しいときがありますが、そ
んなときは無理に頑張らず、
「ありのまま」でいることを心
がけ、前向きな気持ちにつな
げて！

上林 ゲンテンへの参加を
きっかけに、人と触れ合い、「気
づき」が増えて、今があります。
軽い気持ちでもいいので、一歩
踏み出してみてください。

よき理解者として

ゲンテン・チーフコーディネーター
西田 義彦さん

お二人とは3年の付き合い
で、ここに書ききれないほ
ど苦しんでいる姿を見てき
ました。ゲンテンが彼らを変
えたのではなく、彼ら自身が
支援を受ける中で「新しい自
分」を作り出したのです。同
情せず、よき理解者として、
これからも彼らをサポート
していきたいですね。



【プロフィール】

1978年、福井県の漁師町生まれ。京都大学経済学部卒業後、UFJ銀行に勤務。「人の幸せとは」と考えるようになり、3年で退職。その後、「人材育成」をテーマに幼児教育のNPO法人、2009年にはシンク・アンド・アクト(株)を設立。大手人材派遣会社とともに、引きこもり・ニートを支援する事業を進める中で、何らかの課題を抱えた方々の就労支援として中間的就労「ゲンテン」事業を開始。趣味は仕事と自転車。やりたいことはヒップホップダンス。2児の父。

かがやき
輝造形活動
「輝楽工房」

当法人の各事業所では、色々な場面において、たくさんの方にご協力いただいています。そのシーンは、イベントのお手伝いから、ひとつのことに特化した活動まで様々です。今回は障害者支援施設「かがやき」での造形活動をご紹介します。

「自己表現の楽しみ、周りに認めてもらうことの喜びを知ってもらいたい」という思いから、輝ではこの4月より2回、日中活動プログラムに約1時間半の造形活動の時間を設けました。その名も「輝楽(きらく)工房」。まだ始まって4カ月ですが、利用者様はこの時間を楽しみにされています。

「この色ええなあ。」
「お抹茶色、えんどう豆色やな。これはさつまいも色やで。」
とパレットに次々と美味しそうな色が溢れます。
「食べ物はっかります」



ね。お腹空いてきましたわ。」
と、笑いも交えながら皆さん思い思いに筆を走らせます。

宇治市木幡にアトリエを構える染色作家の三浦以左子(みづら いさこ)さんが、毎回違うテーマに沿って利用者様に手ほどきされます。三浦さんはこれまで、創作活動の傍ら、地域の幼稚園などで3歳以上の幼児対象に造形指導を行ってこられました。知的障害のある方の指導は輝楽工房が初めて。「皆さんのご様子を見ながら探り探りやっている状態です。同じテーマでも、色遣いや組み合わせなどにそれぞれのセンスが出て、素敵な作品ができるんですよ。」と三浦さん。



今回のテーマは「升目模様を作る」です。「これはマクワ瓜や!」
「また!」
時間が来てもまだまだ筆を置くのを惜しそうにされています。

「編み物も好きやねん。」
「じゃあ、編み物も今度やりましょうか。刺し子とかも良いですね。」
と活動の幅も広がる予感。

利用者様それぞれの可能性がたくさん詰まった輝楽工房生まれの作品は、あつという間に部屋中を埋め尽くしそうです。



「家庭のごちゃごちゃをすっきり暮らしやすく」

監修 南山城学園 障害事業局
スーパーバイザー
澤 月子 (発達心理士)



目が見えない方には触覚や音、耳の聞こえない方には、見て分かる手話など、得意なところを生かして苦手を補い、環境からの情報を得やすくすることを「構造化」と言います。自閉症の方に見通しを伝えるスケジュールや何をするのかを視覚的に示すことは、今や支援の基本となっています。この「構造化」、家庭でも大活躍するんです。その一部をご紹介します。

お悩み①
家族の動きが
バラバラで
把握できない!



個々の予定が書き込める市販のファミリーカレンダーがお薦め!これだったらその日の予定がたくさんあっても書き込めて視覚的に把握できます。

お悩み②
朝の保育園に行くまで
「早くしなさい」と
言わなくてもいい方法は?



朝保育園や幼稚園へ行くまでの時間の目安が分針で分かるように絵をいれると「早くしなさい。」ともう言わなくて済むかもしれません。

お悩み③
玄関がいつも
脱ぎっぱなしの靴で
溢れています…。



ここが「靴を置く場所」と目印をつけると「靴揃え!」と大声はもう響きません。(全く無視している人が1名(夫)いますが、大人なのでほっておきます)

ちょこっと豆知識 今年4月から「障害者差別解消法」がスタートし、障害によるそれぞれの特性や困り事に合わせた「合理的配慮」という概念が登場しました。配慮はただの気配りではなく、具体的な調整や変更を意味します。「構造化」も具体的な調整の一つです。

お知らせ

11/20(日)
彩雲祭、開催!

城陽市富野エリアの彩雲館にて彩雲祭を開催します。屋台やパフォーマンスなどイベントも盛りだくさんの内容になっています。ご友人やご家族もお誘いの上、ご参加ください。
[場所] 彩雲館(城陽市富野狼谷2-1)



昨年度の彩雲祭の様子

2016年秋、高齢者向けトレーニングスペース開放!

介護老人保健施設 煌(きらめき)1階のスペースを地域にお住まいの高齢者向けに開放します。最新のマシンを導入していますので、健康維持や体力をつけたい方などは是非お越し下さい。詳しい内容はホームページまたはお電話にて。
お問い合わせ: [電話]0774-54-7211(担当:今西)
[住所]城陽市長池五社ヶ谷14-1

NEW!カフェぷらんたん
ホームページ

カフェぷらんたんのホームページが新しくなりました。季節限定メニューやイベント情報など最新情報のお知らせを更新していきますので、チェックしてくださいね!



<http://minamiyamashiro.com/printemps/>

ぷちぽんとメール会員、募集!

ぷちぽんとkitchen+farmでは、耳寄りな情報をいち早くお届けするメール配信サービスを始めました。パン教室や野菜収穫体験などのイベント情報をお知らせしますので、ホームページ内の登録画面より登録をお願いします。
<http://puchipont.com/>

